



About Us

URL: <http://www.adng.m.u-tokyo.ac.jp/home/>

成人保健・看護学教室では主に成人期にある人の看護の教育・研究を担当しています。「人が病むこと・老いること」「人が他者をケアすること」という経験を説明する枠組みの解明をとおして、海外からの借り物でない「日本の看護学」の構築を目指しています。

特に、認知症などの慢性疾患、慢性痛、在宅での看取りに関し、本人・家族への看護の枠組み解明と、ケアの質保証・質向上のための活動に焦点を当てています。

メンバー

教授	山本 則子	Noriko Yamamoto-Mitani
講師	高井ゆかり	Yukari Takai
助教	鈴木 美穂	Miho Suzuki
	五十嵐 歩	Ayumi Igarashi
特任助教	山花 令子	Reiko Yamahana (がんプロ)
	御子柴 直子	Naoko Mikoshiba (GLAFS)
大学院生	博士課程	1名
	修士課程	7名
卒論生		1名
研究生		2名

About Our Research

1. 今日の高齢社会においては、多くの人々が、治癒を望めない慢性疾患やコントロールの難しい症状・障害を抱えつつ生活しています。そのような人々への効果的な看護のためには、日々の生活に関する対象者の経験を深く理解することがとても大切です。新たな研究方法を活用しつつ、「人が病むこと・老いること」に関する理解を深めるとりくみを進めています。
2. 看護＝「人が他者をケアすること」は、人類の歴史とともにある営みです。科学的な解明のないまま経験的に提供されてきた看護の実践に光を当て、優れた看護行為を概念化・体系化する取り組みにチャレンジしています。看護は非常に文化的な営みであり、「日本の看護学」の構築が必要です。
3. 体系化された優れた看護を教育・普及し、ケアの質保証・質向上するためのシステム開発(質指標・ガイドラインの開発普及、インターネットを通じた支援)を、認知症ケア・家族支援・慢性痛・在宅終末期ケアを中心に実施しています。



韓国: The Annual Research Conference at Chungnam National Universityでの講演



USA: カリフォルニア、City of HopeとUCLAの見学



主な研究テーマ

- A. 長期ケア看護学(在宅、療養病床等)
 - * 長期ケア看護の質改善
 - * 慢性疾患を持つ人と家族への看護(認知症、がん等)
 - * 造血幹細胞移植看護
 - * 高齢者・家族の社会資源活用
- B. 緩和ケア看護学
 - * 疼痛管理全般
 - * 終末期(在宅、施設)の看護、終末期看護教育
 - * がん患者の支持療法とQOL
- C. 看護実践の概念化
 - * 質的研究方法の開発・普及
 - * 事例研究

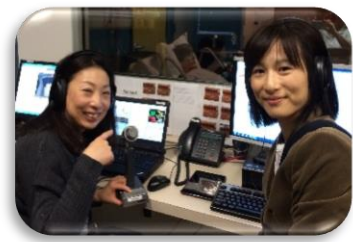
EAFONSで研究発表しました 卒論生



フィリピン: 17th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS)での研究発表



フィリピン: 看護師さんにインタビューしました



USA: セントルイス大学看護学部 シミュレーションセンターの見学

After Graduation

過去5年間の卒業生・大学院修了生進路

- 博士課程修了生
 - ・大学教員 9
 - ・その他: 看護協会1, ポスドク1, 病院1
- 修士課程修了生
 - ・博士課程進学: 4名
 - ・大学教員5
 - ・病院11(うち専門看護師6)
 - ・その他: 国立研究所研究員1



卒業生と修了生

Come Join Us!!

教室研究会: 見学歓迎!!
毎週水曜日16時30分～

